

みよし学園研究テーマ

まちづくりに参画・貢献し、高い志を持つ児童生徒の育成

みよし学園がこの学年で育成したい資質・能力

コミュニケーション能力	協調性	主体性
○自分の考えを持ち、自分と他者の思いや考えを比較検討しながら聞くことができる。 ○根拠をもとに筋道を立てて伝えることで、互いを理解し合うことができる。 ○自分の考えと他者の考えを論理的に比較検討することで考えを深めることができる。 ○他者と論議することで考えが発展することのよさがわかる。	○一人では解決が難しい課題に対して、他者とともによりよい解決方法を考えることができる。 ○協働して取り組むことができる。	○日々の生活の中で、自己や社会の課題に対して、自ら目標を設定することができる。 ○自らの判断で、よりよい取組方法を模索しながら行動することができる。

総合的な学習の時間学習指導案

三次市立河内小学校
教諭 寺田 卓

- 1 日 時 令和6年10月1日（火）5校時
- 2 学年・組 第5学年4名・第6学年3名（計7名）
- 3 場 所 5・6年生教室
- 4 単元名 つながる河内～人と人とのつながりプロジェクト～
- 5 単元について

（1）単元観

本単元は、児童が探究的な学習活動を通して、自分達が住む河内地域が抱えている人口減少や高齢者の増加など様々な問題に対して、地域活性化に取り組む必要性や重要性について理解を深め、それを解決しようとする態度を育てることをねらいとしている。河内に住む人々が幸福感を味わい、共存・共栄していくためには、日々の暮らしの中での人と人とのつながりは、とても重要な要素であると考え。しかし、近年つながりが希薄になり、人と人とのつながりを次世代にどのようにつないでいくかが地域の課題となっている。そこで、それらを解決していくために河内地域の人と人とのつながりを次世代につなげ広げ残していくための取組の一つである「しあわせこうち食堂」（こども食堂）の運営について考え、提案書を作成する活動を行う。「しあわせこうち食堂」に関わっている方々の知恵や工夫に気付くとともに、児童自らが運営に携わることで、現在の地域の課題だけでなく、未来の地域の姿に関心を持ち、考える力を育てることができる単元であると考え。

（2）児童観

単元前に行った児童アンケートの結果は、以下の通りである。

質問内容	回答
河内地域のよさは何ですか。	・人と人とのつながりが強い。 ・地域の人がみんなに優しい。
河内地域の課題は何ですか。	・小学生が減ってきている。 ・高齢化

児童は、河内が大好きであり、自分達が様々な場面で地域の方に支えてもらっていると感じている。しかし、河内のよさである「人と人のつながり」がなくなってしまうのではないかと心配している。地域で、2か月に1度行われている「しあわせこうち食堂」は、児童の保護者の人が「河内の人が集まる場を作りたい。」という思いから令和4年度より始めた取組の一つである。児童全員が楽しみに参加しているものの、多くの児童が飲み物コーナーの接客などの手伝いはしているが、お客さんとして参加している意識が強い。

みよし学園で育成したい資質・能力に関することについて、1学期末に行ったアンケート結果は以下の通りである。

質問内容		肯定的評価
コミュニケーション能力	友達と話し合う時、自分の考えと比べながら、友達の話を聞いているか。	100%
協調性	一人では解決が難しい問題を解決するために、友達と協力しているか。	100%
主体性	みんなで決めた目標を達成するために、自分の役割を果たそうとしているか。	100%

児童は、すべての項目において肯定的評価が高いが、第1学年時から一緒に過ごしてきているため、お互いの考えや思いを伝えなくても理解できる関係にあり、根拠をもち筋道を立てて伝えるまでには至っていない。また、自分の思いと違っても遠慮して譲る姿も見られ、他者と論議することで考えが深まったり発展したりすることのよさを感じていない。

(3) 指導観

単元の導入では、河内の住民一人一人が主役となるように町づくりをめざして活動されている地域の方の話を聞き、地域のよさと課題意識を明確にしていく。自分たちも河内に住む者として、できることを考え、「しあわせこうち食堂」に焦点を当て、発起人である保護者の方から「もっと人と人とのつながりがうまれる食堂にしていきたい」という思いを提起していただくことで、「しあわせこうち食堂」を人と人とがつながれる場にするため、できることを考えさせていきたい。その際、ただお客さんが集まればよいという発想だけではなく、「人と人がつながる場」とは、どのような場なのかを考えさせ、提案内容をまとめていく。

また、「つながり」を大切にした「しあわせこうち食堂」の在り方について、意見を出し合い、それを改善する活動を行う。まず、自分達の考えをプレゼンテーションする場を設定する。その後、考え、話し合う視点を明確にさせ、より目的の達成に向けた効果的な取組となるように、提案内容を「メリット・デメリット」の視点で検討させていく。話し合った内容の実現に向けて取り組んでいく中で、一人では解決が難しい課題に対して、他者とともによりよい解決方法を考え、協働して取り組むことができる力をつけていく。

6 単元の目標

地域の人と人とのつながりを次世代につなぐ方法を考え、実行する活動を通して、河内の地域のよさに気づき、河内のよさを次世代につなぐために取り組まれている方々の思いや知恵、工夫を理解し、地域のよさを次世代につなぐために自分にできることを考えるとともに、町づくりに積極的に関わることができるようにする。

7 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①河内のよさを次世代につなぐために、協働して活動が続いている組織や人々の存在を理解している。 ②課題解決のために、インタビューやインターネットなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・工夫してプレゼンテーションにまとめたりしている。 ③河内のよさを次世代につなぐ活動を通して、自らの行動が社会をより良くすることにつながっていることを理解している。	①河内のよさを次世代につなぐ方法を探る課題を自ら設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながら、見通しをもって活動計画を立てている。 ②河内のよさを次世代につなぐ方法について、調べたいことを明確にしながら、情報を収集している。 ③収集した多様な情報を整理・分析し、河内のよさを次世代につなぐための活動について知らせるための表現方法を考えている。 ④河内のよさを次世代につなぐために、地域の一員として自分たちにできることを考え、表現している。	①河内のよさを次世代につなぐために、取り組んでいる方々について、その思いを理解しようとしている。【コミュニケーション能力】 ②河内のよさを次世代につなぐという課題に対して、目標達成に向けて、よりよい取組方法を模索しながら行動しようとしている。【主体性】 ③河内のよさを次世代につなぐという課題解決に向けて、仲間と協働し、他者とともによりよい解決方法を考え、協働して取り組もうとしている。【協調性】 ④自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。【主体性】

8 単元計画（38 時間）

	【探究の過程】 個別の問い	知	思	主	評価方法	() 他教科との関連・外部人材の活用等
第一部 河内のよさや課題を知る (11)	【課題の設定】(2) 私たちが生活している河内のよさや課題は、どのようなものがあるのだろうか？ (よさ) ・人と人のつながりが強いこと ・地域行事が多く充実していること (課題) ・少子高齢化の進行。 ・少子高齢化で地域行事が続いていくことが難しくなってきたこと 河内をよりよい町にするために自分たちはどんなことを考えていけばよいのだろうか？ ・どんな町にしたいか → ・人と人とのつながりが残る町にしたいな。 ・どんな活動ができるか → ・空き家の古民家カフェ ・しあわせこうち食堂		①	① コ	・ワークシート	(国語科) 「きいて、きいて、きいてみよう」 「聞いて、考えを深めよう」 欲しい情報を集めるにはどのように質問をすればよいかを学習することで、インタビューでどのような聞き方をすればよいかを考えさせる。 ・河内まちづくり連合会会長 堂前さん ・☆Kira☆びとこうち 「しあわせこうち食堂」 代表 田上さん 河内のよさや課題をどのように考えておられるかを聞くことで、自分達の考えの妥当性を確認したり、新たな視点を得たりする。
	【情報の収集】(2) しあわせこうち食堂について詳しく知るために、田上さんにどんなことを質問すればよいのだろうか？ ・どうして河内のために活動されているのか。 ・〇〇のために、どのような工夫をされているのか。	①		① コ	・ワークシート	

第二部 より人と人がつながる場となる方法を考える。 (14)	・やっていた嬉しかったことや大変だったことは何か。 ・もっとこうしていきたいと考えていることは何か。					
	【整理・分析】(2) 田上さんは、人と人がつながる「しあわせこうち食堂」となるために、どのような工夫をされているのだろうか？ ・みんなが楽しく過ごすことができるために〇〇していた。 ・宣伝方法を工夫して、色々な人の目に留まるようにしていた。		③		・ワークシート	
	【まとめ・表現】(5)本時 「しあわせこうち食堂」のために私たちにできることは何だろうか？ ・場を工夫して、もっと河内の人と人が交流できるようにしたい。 ・宣伝方法を工夫して、河内に暮らす人たちに「しあわせこうち食堂」のことを知ってもらいたい。			③ 協	・ワークシート ・行動観察 ・自己評価表	
	【課題の設定】(1) 私たちが「しあわせこうち食堂」のために活動できることは具体的にどんなことだろうか？ (場づくりの工夫) ・混雑しないような人の動線を考えた場の設定。 ・食材を提供してくださった方の紹介(掲示物) ・調理メンバーの紹介(掲示物) ・会場準備等のスタッフの紹介(掲示物) ・憩いのスペースの雰囲気づくり(季節のコーナー、音楽) ・お弁当の感想コーナー(模造紙、付箋紙) (宣伝の工夫) ・チラシ作成、配付 ・レシピ作成、配付			② 主	・ワークシート	(道徳科)「和太鼓調べ」 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度を身につけることで、河内の文化や伝統を守りたいという思いを高める。 (社会科) 「わたしたちの生活と食料生産」 自分達の生活と食料生産の関わりについて考えることで、「しあわせこうち食堂」は、多くの人の協力があって成り立っていることに気付かせる。
	【情報の収集】(2) 自分達が考えた工夫は、人と人がつながる「しあわせこうち食堂」になっているのだろうか？ ・お客さんにアンケートをとりたい。 →・「しあわせこうち食堂」に求めていることを10月の「しあわせこうち食堂」で調査する。	②	②	② 主	・ワークシート	(国語科) 「よりよい学校生活のために」 「みんなで楽しく過ごすために」 話し合いの中で、互いの立場を明確にしたり、目的や条件に合わせて、主張や理由、根拠をはっきりさせたりすることで、考えを広げたりまとめたりすることができる。「しあわせこうち食堂」が、より人と人がつながるものになるような方法を考える。

【整理・分析】（７） お客さんが「しあわせこうち食堂」に期待していることは何なのだろうか？ ・アンケートを集計して、お客さんの要望を整理しよう。 →・より人と人がつながる「しあわせこうち食堂」にするために自分達が考えている工夫が、お客さんの要望に合っているかを分析する。 ・より人と人がつながる「しあわせこうち食堂」になるために、お客さんの要望を踏まえて、自分達の案を改善する。 ・アンケート結果をもとに、より人と人がつながる「しあわせこうち食堂」にしたい。 →・アンケート結果をふまえた自分の意見を発表し、改善案を出し合う。 ・幅広い年齢層を意識して、改善策を考える必要がある。 ・お客さん、調理メンバー、食材提供者等が、つながり合うことができるようなものを考えるとよい。 ・田上さんに改善した提案を聞いてもらって、意見をもらいたい。 →・考えたことをプレゼンで田上さんに伝え、アドバイスをもらう。		③		・ワークシート	
【まとめ・表現】（４） 自分達の考えたことを実現すると、人と人とがつながる「しあわせこうち食堂」になるのだろうか？ ・改善案をもとに準備したことを「しあわせこうち食堂」で試したい。 →・自分達が考えて準備してきた（場づくりの工夫）や（宣伝の工夫）の成果を12月の「しあわせこうち食堂」で実践する。 ・お客さんが喜んでくれたのか知りたい。 →・自分達が実践した工夫についてアンケートを取る。		④	④主	・発表内容 ・ワークシート	・☆Kira☆ぴとこうち「しあわせこうち食堂」代表 田上さん 自分達が考えたことを伝え、意見をもらう。 ・食材を提供してくださっている地域の方 ・コミュニティ館長 ・辰巳農園の辰巳さん 等 どのような思いで、食材を提供してくださっているのかを聞き、その思いを掲示物で紹介する。 ・ボランティアスタッフの方（会場準備片付け・調理等） どのような思いで活動されているかを聞き、その思いを掲示物で紹介する。

第3部 より人と人がつながるしあわせこうち食堂にする (13)	【課題の設定】(2) さらに、人と人がつながる「しあわせこうち食堂」にするためにはどうすればよいのだろうか？ ・12月の反省点を改善して、2月の「しあわせこうち食堂」でも活動したい。			④主	・ワークシート	・☆Kira☆ぴとこうち 「しあわせこうち食堂」 代表 田上さん 12月の振り返りをもとに、自分達で考えた改善策を伝え、意見をもらう。
	【情報の収集】(4) 12月の「しあわせこうち食堂」からどう改善すればよいのだろうか？ ・やってみて気付いたことを交流する。 ・アンケートを分析してお客さんの感想を調べる。		②	③協	・ワークシート	
	【整理・分析】(4) 2月に向けて、どんな準備をしていけばよいのだろうか？ (よかったので継続する点) ・憩いのスペースについて考えたことで、人と人がつながる場となった。おしゃべりをして帰る人が増えた。 ・「しあわせこうち食堂」に関わっている人たちの思いを知ってもらうことができた。人と人の心をつなぐことができた。 (改善点) ・おしゃべりをするのが苦手な人もいるので、きっかけを用意する。 ・お弁当を買ってすぐに帰ってしまう人に残ってもらうための工夫が必要。 ・レシピや紹介文をもっと分かりやすくする。			④主	・ワークシート	
	【まとめ・表現】(3) 自分達の活動によって、河内の人と人との交流を深めることはできるのだろうか？ ・12月のときよりも、人と人がつながる「しあわせこうち食堂」にしたい。 ※活動後は単元全体を振り返り、自己の資質・能力の高まりを振り返る。 河内の町づくりに携わって活動する中で、自分はどんなことができるようになったのだろうか？ ・これまでは友達の提案に「いいね」と同意していたが、責任者を任されたことで、勇気を出して自分の意見を伝えることがで	③			・単元の振り返り	

	き、コミュニケーション能力が高まった。 ・自分では思い付かないアイデアを出されて最初は困ったけれど、自分の考えと友達のことを出し合っていくことで、一人で考えるよりもよい考えにすることができ、協調性が高まった。中学校で新しいクラスメイトと出会っても協力して話し合っていきたい。				
--	--	--	--	--	--

9 本時の展開【第1部（まとめ・表現） 4／5】

（1）本時の目標

- ・「しあわせこうち食堂」についての具体的な提案について、相互評価する活動を通して、「人と人をつなぐことができるか」という視点で、より効果的な内容について検討しようとする。

（2）本時の評価規準

- ・「人と人をつなぐ」という視点で提案内容を相互評価することを通して、より目的をもった活動となるように考え、自分の意見を伝えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度③協調性】

（ルーブリック）

A	提案内容について、よい点、改善点を考え、根拠をもとに筋道立てて、自分の考えを伝えようとしている。
B	提案内容について、よい点や改善点を考え、自分の考えを伝えようとしている。
C	提案内容について、よい点や改善点を考え、自分の考えを伝えようとしていない。

<B評価に至らない児童への支援方法>

- ・より人と人をつなげるための方法を考えるという視点を振り返らせる。
- ・人と人のつながりとは、お客さん同士のつながりだけでなく、ボランティアスタッフや食材を提供してくださっている人など「しあわせこうち食堂」に関わっている全ての人が対象となることを確認させる。
- ・また、「しあわせこうち食堂」に来ることができない地域の人も含めた人と人のつながりまで考えることができるとよいということを確認させる。

（3）準備物

電子黒板、タブレット端末、振り返りカード

（4）本時の展開

	学習活動 ■発問 ・予想される児童の反応	○指導上の手立て ●留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時の流れを確認する。 2 本時のめあてを確認する。	○これまでの活動の内容を振り返らせ、本時の内容を確認させる。 ○本時のめあてを確認させる。 ●「人と人をつなぐ」という視点で工夫の改善案を話し合うことを確認させる。	
	本時のめあて 「しあわせこうち食堂」についての提案内容を検討し合い、改善案を出し合おう。		

展開	3 今回の提案内容「憩いのスペースの改善」の担当責任者が案を発表する。 ・階段が大変な人もいると思うから憩いのスペースを2階から1階に変えたい。 ・人と人のつながりができるように長机の配置をコの字にする。 4 案に対して、意見を出し合い、改善案を考える。 ・憩いのスペースを1階の部屋に変えた方がいい。 (理由) ・食べて帰る人が増えて、人と人がつながる食堂になると思うから。 ・弁当を受け取る場所と憩いのスペースが近い方が、食べて帰る人が増えると思うから。 ・憩いのスペースは2階のままでいい。 (理由) ・コミュニティの中で1番広い部屋で、多くの人が食べることができるから。 ・憩いのスペースの雰囲気づくり (演出) ・季節のコーナーをつくる。 ・季節に合った曲を流す。 ・キーボードの生演奏をする。 5 それぞれの方法について、友達の改善案を踏まえて、田上さんにプレゼンをするための資料を追加修正する。	○幅広い世代の人を意識して、改善方法を考えることを確認させる。 ○意見に対して、メリットとデメリットを考えさせる。 ○発表された案に対して、メリット・デメリット、疑問点を付箋（ロイロノート）にまとめて整理させる。 ○デメリットがどうすれば解消されるかという視点で改善案を付箋（ロイロノート）にまとめさせる。 ○改善案を出し合わせ、交流させる。 ●必要に応じて、「人と人をつなぐ」という目的に合っているかという視点を確認させる。 ●人と人のつながりとは、お客さん同士のつながりだけでなく、ボランティアスタッフや食材を提供してくださっている人など「しあわせこうち食堂」に関わっている全ての人を対象となることを確認させる。 ●「しあわせこうち食堂」に来ることができない地域の人も含めた人と人のつながりまで考えることができるとよいということを確認させる。 ●無理かもしれないと自分で判断せずに、いろいろな意見を出し合うことが、選択肢が増えることにつながることを確認させる。 ○みんなからの改善案を踏まえて、自分の考えをまとめることが大切であることをおさえる。 ●みんなで考えたメリット・デメリットを踏まえて、考えを理解してもらえるプレゼンテーションになっているか、お互いに確認し合う場を設定する。	「人と人をつなぐ」という視点で提案内容を相互評価することを通して、より目的をもった活動となるように考え、自分の意見をようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度③協調性】（行動観察・自己評価表）
-----------	---	---	--

終 末	6 振り返りをする。 ・話し合いで気付いたことや考えが深まったこと等をふまえて、自分の活動の振り返りをする。		
	【児童から出させたい記述】 ・友達の意見を聞いて、自分は楽しそうだからという理由でアイディアを出していたことに気付いた。目的を確認して、より人と人がつながる食堂になるような改善方法を考えることができた。 ・自分には思いつかなかったが、〇〇という友達のアイディアを取り入れて、より人と人がつながる食堂になる改善方法を考えることができたので、協調性を高めることができた。		
	7 次時の予定確認 ・田上さんへのプレゼン資料作りの続きをする。	○次時の予定を確認させる。	